

令和7年度 第1回秦野市コンプライアンス推進委員会結果概要

1 開催日時	令和7年5月30日(金) 午前11時から午後0時まで	
2 開催場所	秦野市役所本庁舎3A会議室	
3 出席者	委 員	石原副市長〔委員長〕、高橋副市長〔副委員長〕、政策部長（代理＝行政経営課長）、総務部長、税務担当部長、くらし安心部長、文化スポーツ部長、福祉部長、こども健康部長、環境産業部長、はだの魅力づくり担当部長、都市部長、建設部長、会計管理者、上下水道局長、議会局長、監査事務局長、選挙管理委員会事務局長、教育部長、消防長（代理＝消防総務課長）
	事 務 局	文書法制課長、文書法制課課長代理、文書法制課担当、人事課長、人事課課長代理（人事管理担当）
4 議 題	1 協議事項 令和6年度各課等から報告されたアクシデント及びインシデントに係る評価等について 2 報告事項 (1) 令和6年度秦野市総合防災訓練会場設営委託業務における不適切な事務処理について (2) 公用車両のNHK受信料の未払いについて 3 その他	
5 配付資料	次第、資料1－1、資料1－2、資料1－3、資料2、資料3	

6 会議概要

(1) 協議事項

令和6年度各課等から報告されたアクシデント及びインシデントに係る評価等について

【説明】資料に基づき説明（事務局）

【質疑、意見等】

- ・ アクシデント・インシデントの件数について、近年の傾向はあるか。
→令和5年度からは減少したものの、令和4年度と比較すると増加している。横這いにある状況と認識している。
- ・ 件数の目標値について検討をしてほしい。
- ・ 施設管理の評価の中に「必要に応じて専門職員に相談を」という記載があるが、その「必要性」に事務職員が気付くことができるのか。

→職員によっても知識経験の差があり、難しい部分もあるが、リスクを防止するためにより心掛けてもらいたいという意味合いで記載したものである。

→都市部では、現在、公共施設保全計画の見直しを図っている。施設管理者と連携を取れるよう取り組んでいく予定である。

【協議結果】承認

(2) 報告事項

ア 令和6年度秦野市総合防災訓練会場設営委託業務における不適切な事務処理について

【説明】資料に基づき説明（くらし安心部長）

【質疑、意見等】

- ・ 昨年の台風は市内各所に多大な被害をもたらしたものであった。緊急時のあらゆる対応がある中では、決裁権者による口頭での判断によらなければ処理しきことは難しい。口頭での協議により認めたことについて、監査委員から指摘があったことには現場との乖離を感じる。→難しい状況は承知するが、遡って文書を残す対応も必要である。

- ・ 今年度についても同様の事例が起こる可能性がある。どのような処理が適切なのか。

→くらし安心部では、防災訓練以外にも多くの事業を所管しており、契約書及び仕様書の内容を調整し、疑義をなくす方針である。

- ・ 「賠償金で支払わなかった」と指摘されているが、この件は不法行為ではないので、補償金等の名目で支払をすれば問題ないのではないか。

【委員長】

- ・ 本事案については、所管部署において事案の発生要因や対応等を把握し、すでに進められていることから、くらし安心部には再発防止策について引き続き着実な履行を求め、意思決定に係る経過を文書により行う文書主義の重要性について、各部にその徹底をお願いすることとし、本報告をもって終結としたい。

イ 公用車両のNHK受信料の未払いについて

【説明】資料に基づき説明（上下水道局長）

【質疑、意見等】

- ・ テレビ受信機の設置状況について、市長部局のものは財産管理課において全て把握されているか。

→150台の公用車を集中管理しているため、把握している。集中管理をしていない上下水道局、消防、環境資源対策課の車両については、

毎年度の照会により把握している。今回の車両はその照会に対する回答から漏れていたものである。

【委員長】

- ・ 本事案については、所管部署による発生要因の特定、対策及びNHKとの調整もすでに進められていることから、上下水道局には再発防止策について着実な履行を求め、本報告をもって終結としたい。

(3) その他

見積合わせ、入札を回避するために分割発注したものと疑いを招く事案等について、監査委員から指摘を複数受けていることについて、委員長から注意喚起有り。